

## 【9月 長月（ながつき）】

秋の始まり。暑さが残る中でも朝晩が涼しい日が続くようになります。夜に空気が冷えるので、翌朝、結露して草木に露が宿る「白露<sup>はくろ</sup>」という言葉がピッタリの月です。後半には秋分の日があります。「玄鳥去<sup>つばめさる</sup>」など、生き物も少しずつ冬支度を始めます。

### <9月の行事>

- |       |               |
|-------|---------------|
| 15日ごろ | 敬老の日          |
| 20日ごろ | 中秋節（お月見・秋の七草） |
| 23日ごろ | 秋分の日          |

# 敬老の日

敬老の日は日本の祝日の一つです。9月の第3月曜日がそれにあたります。

多年に渡り社会貢献してきた老人を敬い、これからも長生きしてくださいと願う、長寿を祝う日です。

起源は昭和 22 年に兵庫県<sup>たか</sup>多可郡<sup>の</sup>野間谷村で門脇政夫氏が「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨で「としよりの日」ができたのが始まりとされています。

2002年までは9月15日と決まっていたが、ハッピーマンデー制度が適用され2003年からは9月第3週へ移動しました。



## 敬老の日の由来

上で紹介した由来の他にも由来とされるものがあります。

聖徳太子が四天王寺に<sup>ひでん</sup>悲田院を建立した日が 593 年 9 月 15 日であるとした説もあります。

元正天皇が現在の岐阜県の養老の滝に<sup>みゆき</sup>御幸(天皇の旅行や外出)した日が717年9月15日とされる説もあります。

## 世界にもある敬老の日

【祝日となっている国】

老人に敬意を表する祝日・記念日は様々な国に存在します。

- ・アメリカでは、9月の第2日日曜日が「祖父母の日」とされています。
- ・イタリアでは10月2日が「祖父母の日」と呼ばれています。
- ・パラオでは Senior Citizens Day とされ、5月5日が祝日となっています。

他の国々にもお年寄りを敬う日があります。調べてみると面白い発見があるかもしれません。

## ひが 彼岸

春分・秋分を中日<sup>ちゅうにち</sup>とし、前後各3日を合わせた各7日間(1年で計14日間)。この期間に行う仏事<sup>ひがんえ</sup>を彼岸会と呼びます。

「極楽浄土」は西方にあるとされ、1年の内で2度、昼と夜の長さが同じになる春分と秋分は、太陽が真東から昇り、真西に沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、遙か彼方の極楽浄土に思いをはせたのが彼岸の始まりです。

昼夜・東西が平行になるお彼岸の時期には、「あの世」への門が開くといわれてきたことから、現代では祖先供養の行事となって定着しています。



### 「暑さ寒さも彼岸まで」

日本の気候を表す慣用句に「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があります。これは、冬の寒さは春分のころまでに、夏の暑さは秋分のころまで続き、彼岸を過ぎるとやわらぎ、しのぎやすくなるという気候を表した言葉です。

また、この慣用句の意味を転じて、「辛いこともいずれ時期が来れば去っていく」という意味の諺<sup>ことわざ</sup>として用いられることもあります。

実際、春分までは冬の季節現象として降雪・積雪・凍結・結氷<sup>けっぴょう こうそう</sup>・降霜の恐れと、気温では真冬日・冬日になることもあり、また秋分までは夏の季節現象として猛暑日・真夏日・熱帯夜になることも。

そのような辛いことが和らぐ、転機の時期に例えられているのかもしれないね。

### 彼岸のお供え物

日本で彼岸に供え物として作られる「ぼたもち」と「おはぎ」は同じものです。

炊いた米を軽くついてまとめ、分厚く餡で包んだ10cm弱の菓子として作られるのが今は一般的で各地で手作りされていた時は様々なぼた餅やおはぎがありました。

春の彼岸の頃に咲く牡丹＝牡丹餅  
秋の彼岸のころに咲く萩(秋)＝おはぎ

と、その時期に咲く花の名前から名づけられたようです。

また、邪気を払う効果があると言われていた小豆を餡に使うことが多いですが、その他にきな粉、青のり、ずんだ、ゴマ、など、地方によって様々な餡が使われています。